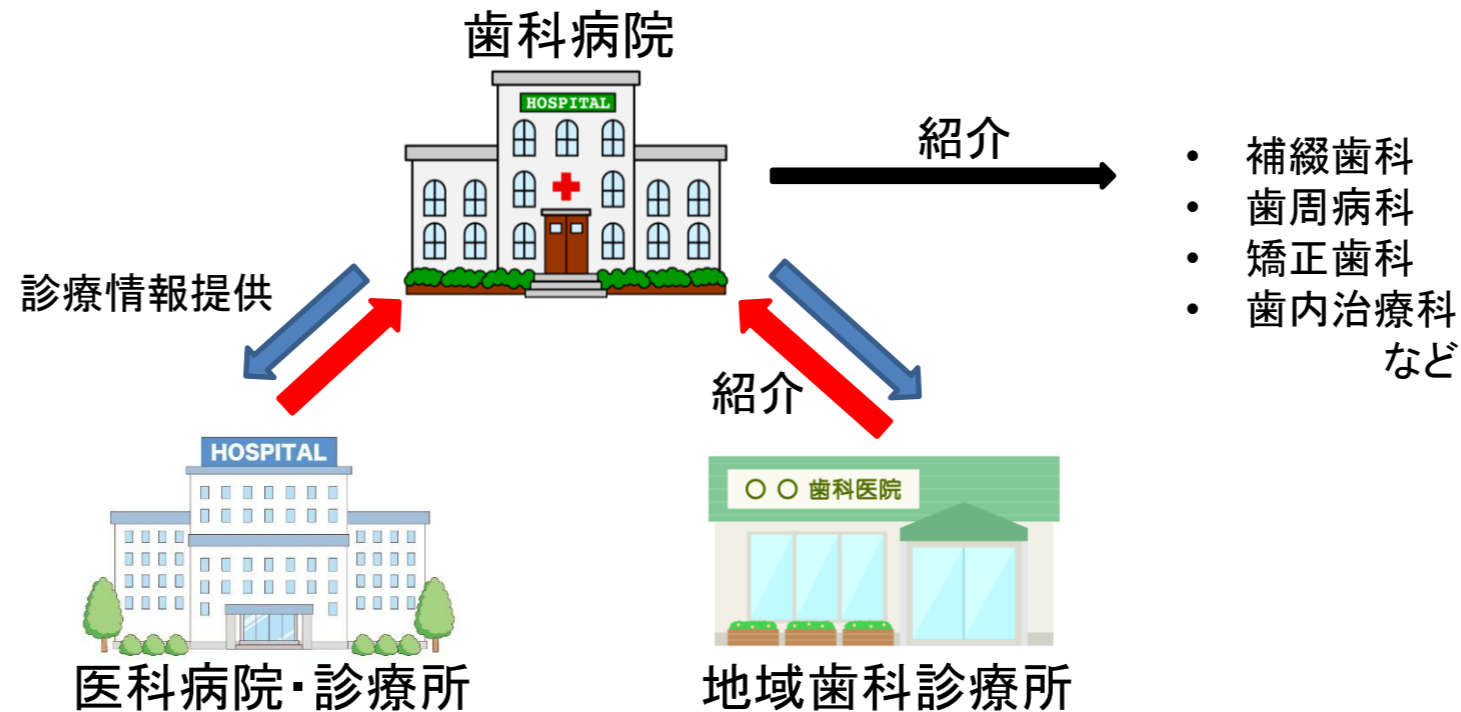


医科歯科連携診療歯科

医科歯科連携診療歯科 診療の特色

当科は地域の歯科開業医との連携を密にし、地域の歯科医院では対応が困難な患者の治療を行うことを目的の一つとしています。その中でも特に全身疾患を持った患者様の治療を医師と連携しながら安心・安全に行っていきます。また、必要に応じて、院内の各専門科、昭和医科大学附属病院の各専門科と連携、協力し、患者さんに最良な歯科治療を提供するよう努めています。



医科歯科連携診療歯科 診療の特色

- ① 有病者（高血圧、糖尿病、抗血栓薬・骨吸収抑制薬投与中など）の歯科治療
- ② 地域医療機関から紹介の抜歯・小外科処置
- ③ 歯科治療恐怖症、異常絞扼反射が激しい患者の歯科治療
- ④ 地域の歯科医院では対応が困難な患者の歯科治療
- ⑤ 昭和医科大学病院と連携した周術期口腔機能管理

口腔の健康維持に生涯にわたって関われる歯科医を養成します。そのため、「疾患」だけに注目するのではなく、なぜその疾患が発症したのかを見て（診察）、聴いて（面接）、考えて（診断）原因を発見し、それを克服して「疾患の発症しにくい口腔環境作り」することを第1に目指して欲しいと考えています。

研修期間を通して患者さんと数多く話し合い、数多く診察、治療することを通して患者さんの気持ちに寄り添った治療をしたいと考えている研修医を求めています。

医科歯科連携診療歯科 研修の特色

研修の内容

- 初診患者さんの医療面接、カルテ作成ならびに治療計画立案、症例検討会へ参加する。
- 注意すべき常用薬(抗血栓治療薬、骨吸収抑制薬など)を理解する。
- 生体モニターの使用方法、およびその意義を理解する。
- 重篤な全身的合併症を有する患者さんの高頻度治療を安全に行う。
- 全身管理の重要性と意義を理解する。
- 歯科治療恐怖症、異常絞扼反射などの患者さんへの静脈内鎮静法下の治療に参加する。
- 診療情報提供書の読み取り方と作成を学ぶ。
- 紹介患者さんを診ることで、地域の医療最前線で働く開業医の立場を知り、医療連携の大切さを理解する。
- 保険請求についての基礎知識を学ぶ。
- 全身麻酔下手術のアシストを行う。



診療情報提供書	
紹介先の機関等名	令和 年 月 日
病院・診療 施設	
先生	
〒165-8515 東京都大田区北千束2丁目1番1号 昭和大学歯科科医科連携診療歯科	
歯科医師	
ご多忙中恐れ入りますが、下記患者につきお伺い申し上げます。	
よきかた	
患者氏名	姓 性別:
生年月日	西 大 昭 平 年 月 日 (歳) 職業:
病名	
紹介目的	
既往歴および家族歴	
症状経過および検査結果	
治療経過	
現在の処方	
備考	

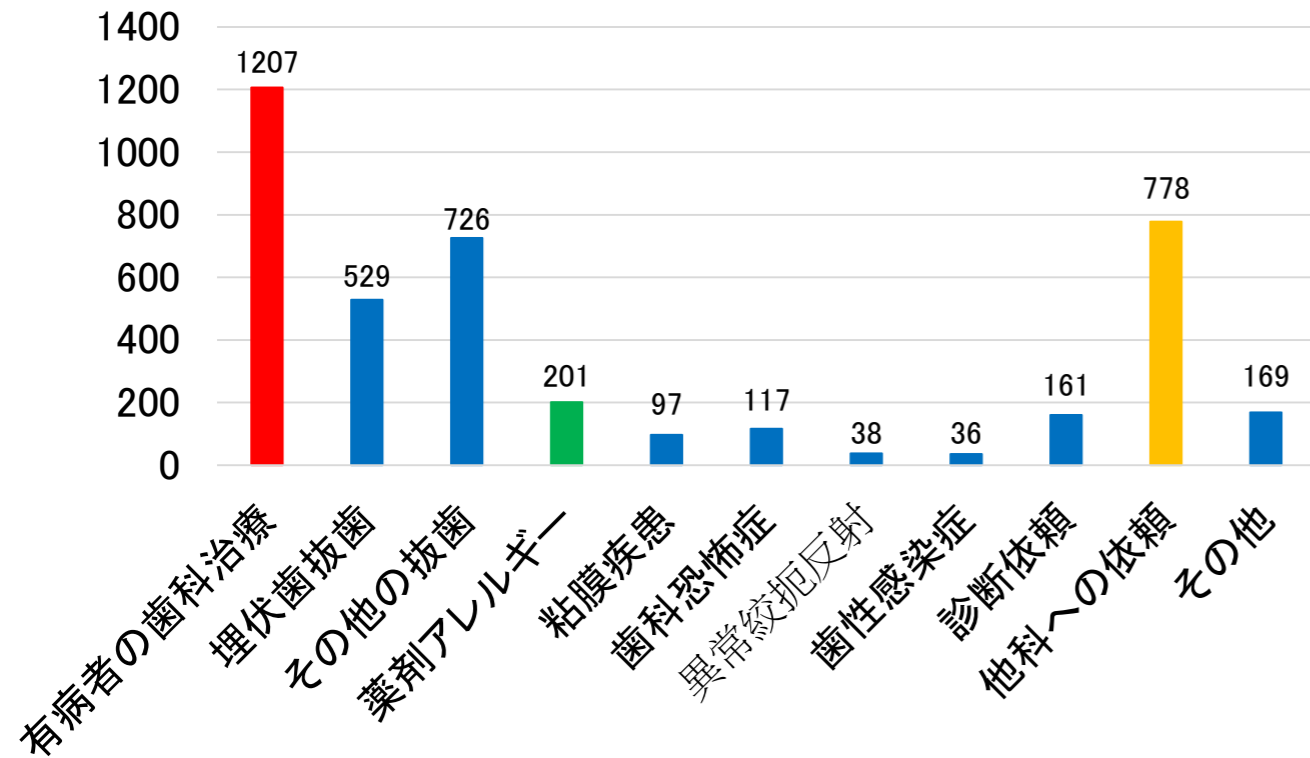


有病者の歯科治療

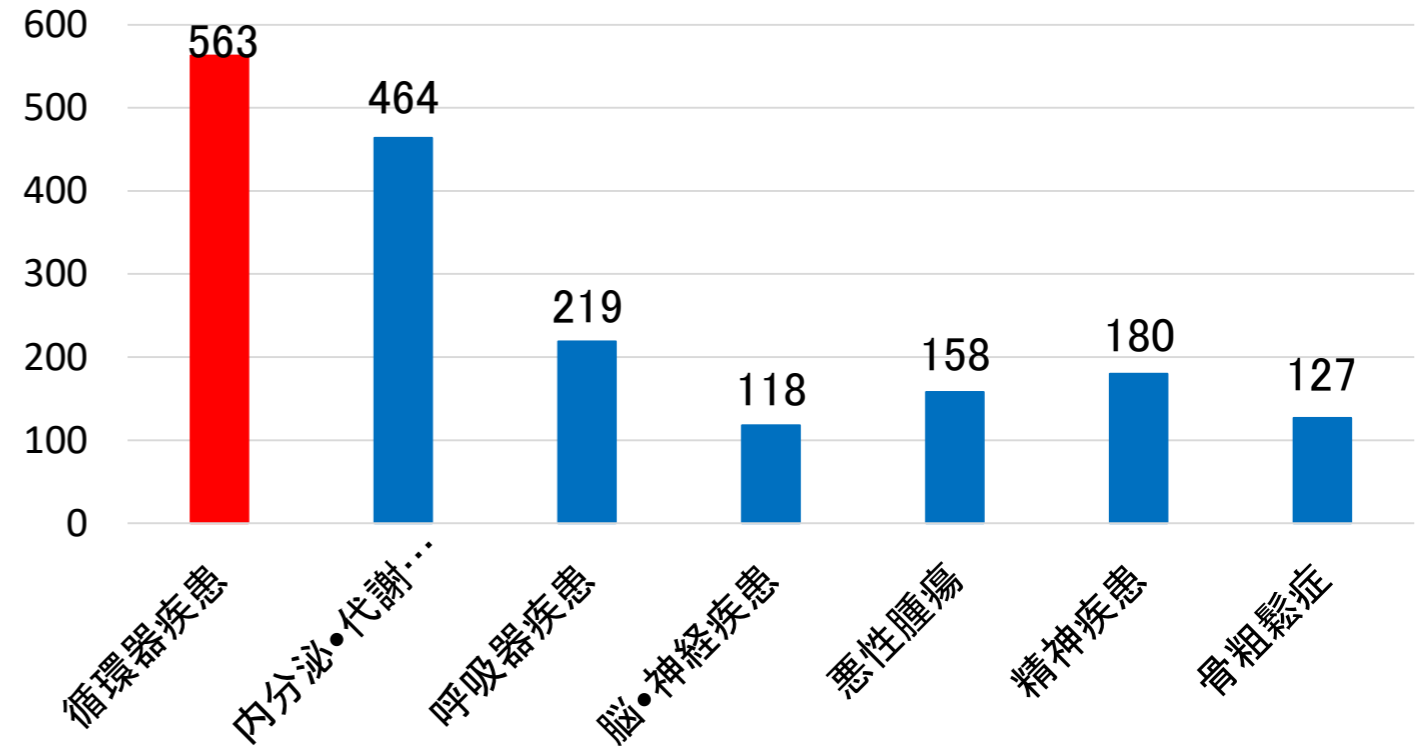
有病者の歯科治療

治療の侵襲と全身的なリスクを評価し、かかりつけ医と対診を行いながら脈拍、血圧をモニターし、安全で極力痛みを与えない治療を行っています。また、全身管理が必要な有病者の処置は入院管理下で行う場合もあります。

医科歯科連携診療歯科の治療内訳



有病者の基礎疾患内訳



静脈内鎮静法の症例(2025年度)

昭和医科大学歯科病院の年間静脈内鎮静法症例数

2561件

医科歯科連携診療歯科での静脈内鎮静法症例数

1484件

当科での静脈内鎮静法症例は全体のおよそ58%を占める。

静脈内鎮静法センター



歯科治療中の管理方法



主に静脈内鎮静法を併用しています、静脈内鎮静法を併用しても治療が困難な症例や治療回数が多くなる症例では患者・歯科麻酔科と相談の上、全身麻酔下で集約的に治療を行っています。

医科歯科連携診療歯科全身麻酔下での治療症例

2025年度：80症例

- ①侵襲の大きい智歯抜歯
- ②極度の歯科治療恐怖症
- ③極度の異常絞扼反射
- ④歯科麻酔アレルギー



医科歯科連携診療歯科の教職員

医局員は昭和医科大学附属病院の麻酔科や救命救急科で研修し、全身的风险に対する実践的な経験と知識を有しているため、患者様が安心して歯科治療を受けられる体制が整えられています。

